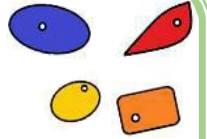


令和8年度 第1回



# クライミングウォール利用認定会

【検定資格】：一定程度のクライミング技術・ビレイ技術を習得している方

【対象】：高校生以上の方

【定員】：10名（先着順）【定員に満たない場合は開催しないことがあります】

【開催日】：令和8年7月20日（月）※祭日 14時～16時 ※集合時間 14時厳守

【開催場所】：加須市民体育館 加須こいのぼりクライミングウォール

【検定内容】（申込前にご自身の技術をご確認ください） **詳細は次のページで紹介**

- ① リードクライミングのビレイが適正にできる
- ② グレード5.10a程度のルートをリードで登れる
- ③ コミュニケーションをとりながらトップロープの支点を安全に構築できる など

【持ち物】：クライミングシューズ、スポーツクライミングハーネス、ビレイデバイス(ATC等チューブ型)、安全環付カラビナ、クライミングロープ(30m以上、9.5mm～10.0mm程度)、クイックドロウ(セルフビレイ用)、ビレイグローブ、体育館シューズ(サンダル不可)等  
**※ビレイ用グラス・グリグリ類{アシストブレーキ型等}は使用できません**

【申込期限】：申込受付中 【定員に達し次第、受付を終了いたします】

【申込方法】：以下フォームまたはQRコードより

<https://forms.gle/uvDwkv3cBwav8QAq7>



【検定料】：2,000円（保険代含む）[当日現金で支払い願います]

【注意事項】：

- ✓ 参加をされてもクライミング技術が基準に満たない場合は認定証を発行できません
- ✓ その場合は「検定料」の払い戻しは致しません
- ✓ 定員に達した場合は申込期間内でも受付を終了する場合があります
- ✓ 定員に満たない場合は開催しないことがあります
- ✓ 認定証に必要な写真(.JPG等)は「**合格後**」に下記宛てにメール送付してください
  - ① 健康スポーツ部、スポーツ振興課、担当：「松本さん」 [sports@city.kazo.lg.jp](mailto:sports@city.kazo.lg.jp)
  - ② メールの子名に「7月20日実施、認定会写真、ご自身の氏名」を記載

【開催の可否について】：

- ✓ 申込締切後、申込フォームに記載されたメールアドレス宛に開催の可否をご連絡します
- ✓ 当日、欠席の場合はキャンセル料をご請求する場合がありますのでご承知おきください
- ✓ 「kazoshigakurenbina.t@gmail.com」が迷惑メールにならない設定にしてください

【問い合わせ先】：質問や気にかかる事は何でもどうぞ・・・

- ✓ 加須市山岳連盟事担当 戸塚貴之
- ✓ 連絡先：メールアドレス [kazoshigakurenbina.t@gmail.com](mailto:kazoshigakurenbina.t@gmail.com)



(TM) こいのぼり

# 加須市民体育館加須こいのぼりクライミングウォール利用認定会チェックシート

検定日:令和8年7月20日(月)14時～

受験者データ				(※)体重				Kg	
氏名		性別		生年月日			年齢	歳	
住所	〒					クライミング歴年			
リードビレイ経験				グレード		(オン)		(レッド)	
学校名		勤務先名		所属クラブ					

<検定基準>

- 体育館利用者として、安全にスポーツクライミングが行える技術を備えているか検定
- 採点方法は、以下の18項目について、安全に配慮した適切な実技(知識と実践)が出来ているか、減点方式にて複数人で判定し、100点満点で総合成績80点以上を合格者とする。
- ・合格レベル減点なし、・△知識、実践不足と思われる 3点減、・×実技にやや問題あり 5点減
- 講評では減点カ所の理由と安全対策を織り込み、安全なクライミングに繋げる

NO	項目	評価内容	採点 (○△×)	
1	基本	必要な用具が揃っている。(ハーネス、クライミングシューズ、安全環付きカラビナ、ATC等(※)、クイックドロウ、グローブ、シングルロープ、体育館シューズ等)		
2		ハーネスやシューズ及びロープの管理状態が適切(劣化したものは△5点→使用不可)		
3	クライミングの実践	8の字結びが正しく結べ、末端処理後の長さ(直径10mmロープで10cm以上)が適切		
4		事前のハーネス、ビレイデバイス、ロープの装着状況の相互確認が適切		
5		ゼット・逆クリップ、クリップ飛ばしに安全に対処していれば(△「0」)		
6		上り始めからローダウンドまでの相互の声がけ、確認が適切(登ります、テンション等)		
7		トップロープの支点(2箇所以上)を適切に構築		
8		5.10a程度のグレードが登れる(ノーテンションで登れることは必須ではない)		
9		リードクライミングビレイ	ビレイヤーは、ロープのキック等を整理し、足下周りに注意してロープを置いている	
10			ハーネスに安全環付きカラビナ、ビレイ器具、ロープを正しくセット	
11	登り始めの時、クライマーと接触しない位置、体制を維持[座ってビレイは△3点]			
12	3ピン目までのロープの張り具合が適切			
13	3ピン目以降のビレイ位置は、出だしの1本目クイックドロウからおおよそ2m以内			
14	ビレイ操作で、ロープの送り出し、引き戻しが素早くできる(制動手、誘導手)			
15	墜落には、制動手でロープを確実に制動し、クライマーを安全に止められる			
16	テンションが掛かった時の動作が、素早く適切に出来る(制動手、誘導手)			
17	降りし方(ローダウンド)がスムーズ、着地を確認してビレイ解除している			
18	上り始めからローダウンドまでの相互の声がけ、確認が適切(クライマー合図復唱等)			
19	※グリグリ類・ビレイグラス使用不可			
加須市山岳連盟・資格:スポーツクライミングコーチI			減点	
検定委員			総合成績	
			合否判定	合・否